



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより



ためし

○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える



令和7年5月2日号 文責 上久木田 雄二



特支コ

平成19年度から制度化された「特別支援教育」も、そろそろ20年を迎えます。すっかり定着した言葉になりましたが、みなさんはどんな認識を持っていますか。

それ以前は「特殊教育」と呼ばれ、一部の人を対象にしたもののようにより誤解されがちでした。

その対象をすべての児童生徒に向け、それぞれの子どもの育ちや学びに焦点化しようという理念のもとにはじまったのが「特別支援教育」です。

特別支援教育は、学校教育の土台であり、人権教育と並んで日常的に考えていかなければならない柱であると私は考えています。

本校では、特別支援教育コーディネータ（略して「特支コ」）を4名指名しています。



子どもたちの学びや育ちに不安やお困りのことがあったら、ぜひコーディネータへご一報ください。

子どもたちの人生は、子どもたちのものです。決して保護者や周りの大人の一人だけで決めてはいけないものだとは思っています。

だからこそ、周りの大人の

子どもを見極める目

が大切です。

3年後、5年後、10年後の子どもの姿をしっかりとイメージして、現在どんな学びや育ちが必要なのか、どんな学びや育ちの環境や方策があるのかの選択肢を持つことは重要です。

何となく今をやり過ごし、目をつぶり見て見ぬふりをすることは、もしかしたら子どもの学びや育ちにとって不利益になりかねません。

学校は、子育ての第三者の目だと思っています。ただいただけると嬉しいと思っています。

家での姿だけが子どもの姿ではありません。学校で、学習中や同世代の中で過ごす中の姿も子どもの姿です。

子どものありのままの姿を、複数の側面から見て情報を共有することで、子どもたちの学びや育ちがより豊かなものになることを願っています。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

